伊達稙宗 没後四六〇年記念
桑折西山城シンポジウム

パネルディスカッション
伊達氏ゆかりの城の魅力

桑折町歴史案内人
半澤 章 さん

歴史＆山城ナビゲーター
山城ガールむつみ さん

俳優・タレント
村井 美樹 さん

滋賀県立大学名誉教授
中井 均 先生

西山城の魅力

（中井）山城なのに眺めが抜群で、稙宗（たねむね）が見た景色を今も感じられる。誰でも登りやすく、土塁や堀切、虎口（こぐち）などの基本が全て揃う「山城の教科書」だと思う。今日、こんなにも多くの人が関心を持って来場されていることもすばらしい。

（村井）道が整備されていて雨でも歩きやすい。本丸からの絶景や段々に続く切岸（きりぎし）、大手に入った瞬間に視界がパッと開ける感じが気持ちいい。新幹線が見える立地に、古くからの交通の要衝であることを実感した。また、こども歴史案内人という素敵な試みを今後も継続して取り組んでほしい。

（むつみ）初めて陸奥（むつ）の守護となった稙宗が「見上げさせる」演出で権威を示した城だと感じる。大手から一気に広がる空間がそれを物語る。政治の場を山の上に置いた先進性や、万正寺の大カヤの根元から遺骨を納めた陶器が出土する土地柄という聖地性、まだまだ謎が多い「底知れなさ」が魅力。今後も謎を議論し続け、発信していってほしい。

（半澤）本丸まで登って表門で振り返る瞬間の景色は圧巻。案内した人の疲れが吹き飛ぶ姿を見るのが何よりの喜び。この誇れる史跡を「守って・活かして・次世代へつなぐ」ために、子どもや若い世代の人の関心を高めていきたい。

町制施行70周年記念事業として、また、桑折西山城主であった伊達稙宗の没後460年を記念し、「桑折西山城シンポジウム」が10月26日、町民体育館などで開かれました。約500人が参加し、桑折西山城の魅力に迫りました。

当日は、滋賀県立大学の中井均名誉教授による基調講演にはじまり、中井先生をコーディネーターとして、俳優・タレントの村井美樹さん、歴史＆山城ナビゲーターの山城ガールむつみさん、町歴史案内人の半澤章さんによるパネルディスカッションを開催。半田銀山祇園ばやしによる演奏や、こども歴史案内人による西山城の紹介も行われ、会場を盛り上げました。また、町歴史案内人による桑折西山城跡散策「天空テラスツアー」も行われ、県内外から約80人が参加し、霧深い幻想的な戦国の山城を体感しました。

1・2・3_「天空テラスツアー」では、町歴史案内人が約80人をガイド。本丸では、ウェルカムドリンクを振る舞いました　4_自分たちで学んだ西山城の歴史を披露する子ども歴史案内人のみなさん

ツキノワグマ対策として放任果樹伐採へ
クマ対策緊急町内会長会議

ツキノワグマによる人身被害が全国的に増加し、県内における人身被害は過去最多、町内における出没件数も昨年を上回っている状況です。町では、クマの目撃情報などから現地を確認する中で、放任された果樹が誘因物となっていると捉え、放任果樹（営農されていない果樹）の一斉伐採事業を緊急的に実施します。事業実施にあたり、山沿いの10町内会を対象としたクマ対策緊急町内会長会議が11月5日、役場で行われました。会議では、事業主旨の説明や各地区における放任果樹の選定作業の協力を依頼し、具体的な手順などを確認しました。町では、選定された放任果樹の伐採作業を、11月下旬から開始しています。

▲クマ対策について現状把握や今後の対策方針を協議、確認する参加者のみなさん

町小・中学校あり方検討
教育委員会の基本方針を手交

かねてより検討を進めている町小・中学校のあり方について、町は総合教育会議を11月7日に行い、教育委員と町長が今後の町立学校のあり方について意見交換を行いました。

会議では、「可及的速やかに義務教育学校を設置する」という町教育委員会の基本方針が町へ手交されました。町は、この方針を尊重し、よりよい教育環境の提供に向けて、今後の町としての方針を決定していきます。

▲佐藤教育長から髙橋町長に基本方針が手交され、これをもとに町長と教育委員らが意見交換を行いました

広　告

広　告